2020/7/22

TDB

株式会社帝国データバンク
広島支店 情報部
広島市中区中町 7-41 広島三栄ビル 5F
TEL: 082-247-5930
URL:https://www.tdb.co.jp/

特別企画： 中国地方 ＳＤＧｓに対する企業の意識調査

「ＳＤＧｓに積極的」、23.7%にとどまる

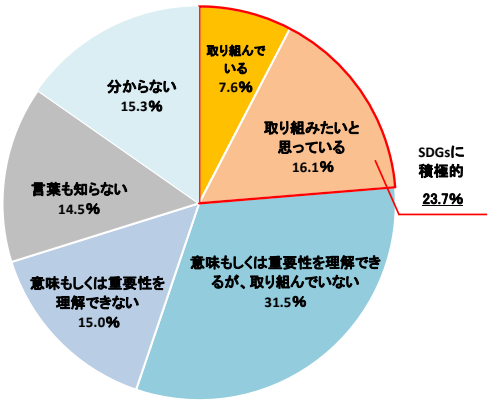
～認知度向上、意味・重要性を認識しつつ取り組んでいない層の底上げが課題に～

はじめに

スーツの左胸に社員章と並べて、17 色のカラフルなドーナツ型のバッジをつけている人をあちらこちらで見かけるようになった。このバッジは、ＳＤＧｓ（Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標）に取り組んでいることを表すものである。

ＳＤＧｓ（エスディージーズ）とは、2015 年 9 月の国連サミットにおいて、世界 193 カ国が産官学民などのステークホルダーとともに同意した「2030 年アジェンダ」に掲載されている世界共通の目標である。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。採択からまもなく 5 年を迎え、政府や行政機関のみならず民間企業の経営指針として急速に注目を集めている。

■ＳＤＧｓへの理解と取り組み



注:母数は有効回答企業654社

そこで、帝国データバンクでＳＤＧｓに対する企業の見解について調査を実施し、中国地方のデータを広島支店でまとめた。調査期間は 2020 年 6 月 17 日～6 月 30 日、調査対象は中国地方に本社を置く企業 1311 社で、有効回答企業数は 654 社（回答率 49.9%）。

調査結果（要旨）

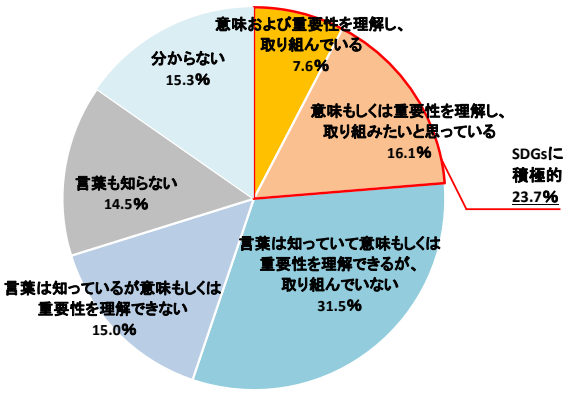
1．ＳＤＧｓに積極的な企業は 23.7%、半数近くは存在を認知しつつ取り組んでいない
2．ＳＤＧｓの 17 目標のうち、最も関心が高いのは「働きがいも経済成長も」
3．ＳＤＧｓ達成への貢献による企業価値の向上、「企業好感度」「社会的評価」が上位に
4．付加価値を生むために取り組むテーマ、ヒトに関する内容が目立つ
5．企業経営する上で最も大切にしていること、「顧客・従業員の満足度」がトップに

©TEIKOKU DATABANK, LTD.

1. ＳＤＧｓに積極的な企業は 23.7%、半数近くは認知しつつ取り組んでいない

自社におけるＳＤＧｓへの理解や取り組みについて尋ねたところ、「意味および重要性を理解し、取り組んでいる」企業は 7.6%（50 社）だった。また、「意味もしくは重要性を理解し、取り組みたいと思っている」は 16.1%（105 社）で、合計するとＳＤＧｓに積極的な企業は 23.7%（155 社）で 4 社に 1 社を下回る結果となった。一方、「言葉は知っていて意味もしくは重要性を理解できるが、取り組んでいない」(31.5%・206 社) が 3 割超となり、構成比が最も高かった。「言葉は知っているが意味もしくは重要性を理解できない」(15.0%・98 社) と合わせたＳＤＧｓの存在は認知しているものの取り組んでいない企業 (304 社・46.5%) は半数近くにのぼった。なお、「言葉も知らない」は 14.5%（95 社）、「分からない」は 15.3%（100 社）だった。

■ＳＤＧｓへの理解と取り組み



注：母数は有効回答企業654社

規模別でみると、ＳＤＧｓに『積極的』では、「大企業」（29.2%・28 社）が「中小企業」（22.8%・127 社）よりも 6.4 ポイント高く、『言葉は知っていて意味もしくは重要性を理解できるが、取り組んでいない』でも「大企業」（33.3%・32 社）が「中小企業」（31.2%・174 社）より高かった。一方、『言葉は知っているが意味もしくは重要性を理解できない』では「中小企業」（15.2%・85 社）が「大企業」（13.5%・13 社）より高く、『言葉も知らない』でも「中小企業」（15.2%・85 社）が「大企業」（10.4%・10 社）よりも高かった。

業種別（母数 10 社以上）でみると、ＳＤＧｓに『積極的』では、「小売」（33.3%・12 社）が最も高く、「サービス」（30.0%・24 社）、「製造」（28.2%・61 社）が続いた。

一方、『言葉も知らない』では、「運輸・倉庫」（21.4%・6 社）が最も高く、「建設」（21.2%・22 社）、「卸売」（15.4%・26 社）が続いた。

■SDGsへの理解と取り組み

（構成比%、カッコ内社数）

	SDGsに『積極的』		意味および重要性を理解し、取り組んでいる		意味もしくは重要性を理解し、取り組みたいと思っている		言葉は知っていて意味もしくは重要性を理解できるが、取り組んでいない		言葉は知っているが意味もしくは重要性を理解できない		言葉も知らない		分からない		合計	
全国	24.5	(2,758)	8.0	(905)	16.4	(1,853)	32.9	(3,715)	14.8	(1,667)	14.3	(1,607)	13.6	(1,528)	100.0	(11,275)
中国	23.7	(155)	7.6	(50)	16.1	(105)	31.5	(206)	15.0	(98)	14.5	(95)	15.3	(100)	100.0	(654)
大企業	29.2	(28)	8.3	(8)	20.8	(20)	33.3	(32)	13.5	(13)	10.4	(10)	13.5	(13)	100.0	(96)
中小企業	22.8	(127)	7.5	(42)	15.2	(85)	31.2	(174)	15.2	(85)	15.2	(85)	15.6	(87)	100.0	(558)
うち小規模	19.2	(33)	4.7	(8)	14.5	(25)	30.8	(53)	14.0	(24)	18.0	(31)	18.0	(31)	100.0	(172)
農・林・水産	33.3	(1)	0.0	(0)	33.3	(1)	66.7	(2)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	100.0	(3)
金融	75.0	(3)	25.0	(1)	50.0	(2)	25.0	(1)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	100.0	(4)
建設	14.4	(15)	4.8	(5)	9.6	(10)	29.8	(31)	18.3	(19)	21.2	(22)	16.3	(17)	100.0	(104)
不動産	18.2	(2)	0.0	(0)	18.2	(2)	36.4	(4)	0.0	(0)	0.0	(0)	45.5	(5)	100.0	(11)
製造	28.2	(61)	10.6	(23)	17.6	(38)	28.7	(62)	15.7	(34)	13.9	(30)	13.4	(29)	100.0	(216)
卸売	20.1	(34)	7.7	(13)	12.4	(21)	29.6	(50)	17.2	(29)	15.4	(26)	17.8	(30)	100.0	(169)
小売	33.3	(12)	5.6	(2)	27.8	(10)	38.9	(14)	11.1	(4)	5.6	(2)	11.1	(4)	100.0	(36)
運輸・倉庫	10.7	(3)	3.6	(1)	7.1	(2)	42.9	(12)	7.1	(2)	21.4	(6)	17.9	(5)	100.0	(28)
サービス	30.0	(24)	6.3	(5)	23.8	(19)	36.3	(29)	12.5	(10)	11.3	(9)	10.0	(8)	100.0	(80)
その他	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	33.3	(1)	0.0	(0)	0.0	(0)	66.7	(2)	100.0	(3)
鳥取	7.1	(3)	0.0	(0)	7.1	(3)	38.1	(16)	21.4	(9)	9.5	(4)	23.8	(10)	100.0	(42)
島根	28.3	(15)	7.5	(4)	20.8	(11)	18.9	(10)	15.1	(8)	17.0	(9)	20.8	(11)	100.0	(53)
岡山	33.7	(57)	14.2	(24)	19.5	(33)	27.2	(46)	13.0	(22)	10.1	(17)	16.0	(27)	100.0	(169)
広島	22.1	(58)	5.3	(14)	16.8	(44)	34.4	(90)	14.1	(37)	15.6	(41)	13.7	(36)	100.0	(262)
山口	17.2	(22)	6.3	(8)	10.9	(14)	34.4	(44)	17.2	(22)	18.8	(24)	12.5	(16)	100.0	(128)

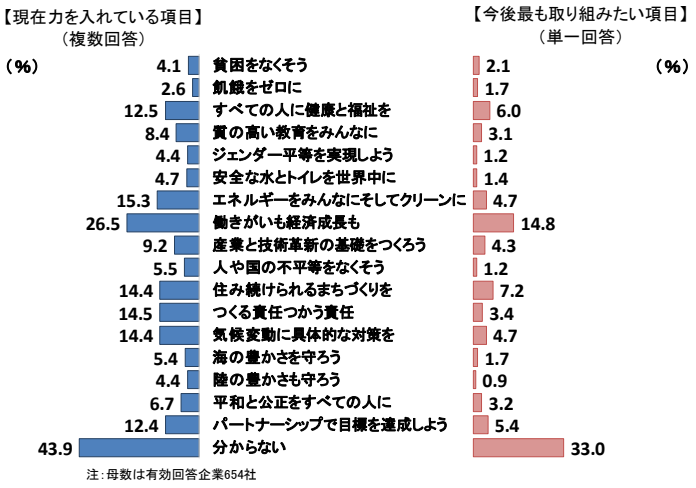
注1：網掛けは、中国ブロック以上を表す
注2：母数は有効回答企業1万1,275社、中国ブロックは654社

©TEIKOKU DATABANK, LTD.

2. ＳＤＧｓの 17 目標のうち、最も関心が高いのは「働きがいも経済成長も」

ＳＤＧｓで掲げられている 17 目標のうち、現在力を入れて取り組んでいる項目を尋ねたところ、目標の８つ目に掲げられている「働きがいも経済成長も」が 26.5%で最も高かった（複数回答、以下同）。働き方改革など、既に注目されているテーマを含んでいることが一因とみられる。次いで、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」（15.3%）、「つくる責任つかう責任」（14.5%）、「住み続けられるまちづくりを」「気候変動に具体的な対策を」（各 14.4%）が続いた。企業活動に結びつきやすい項目では取り組む企業も多かった。一方で「貧困をなくそう」（4.1%）や「飢餓をゼロに」（2.6%）は低位にとどまった。

■SDGsの17目標のなかで力を入れて取り組む項目 ～現在と今後～



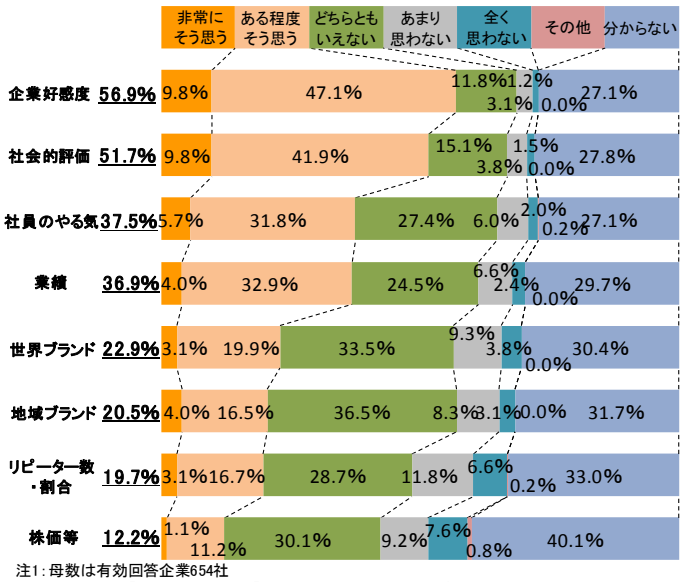
注：母数は有効回答企業654社

また、今後、最も取り組みたい項目について尋ねたところ、「働きがいも経済成長も」が 14.8%でトップとなった（単一回答、以下同）。次いで、「住み続けられるまちづくりを」（7.2%）、「すべての人に健康と福祉を」（6.0%）が続いた。

3. ＳＤＧｓ達成への貢献による企業価値の向上、「企業好感度」「社会的評価」が上位に

ＳＤＧｓの達成に貢献することによって、どのような企業価値の向上に役立つと思うか尋ねたところ、「企業好感度」に関して企業の 56.9%が『そう思う』（「非常にそう思う」と「ある程度そう思う」の合計）と考えていた。さらに、「社会的評価」が 51.7%で５割を上回るなど、ＳＤＧｓに取り組むことで社外からの見られ方に好影響があるとする意見が強い結果となった。

■SDGsの達成が生む企業価値の向上



注1：母数は有効回答企業654社
注2：下線の値は「非常にそう思う」と「ある程度そう思う」の合計の割合

一方で、「世界ブランド」や「地域ブランド」では「どちらともいえない」「あまり思わない」とする割合が高かった。また「株価等」に関しては、ＳＤＧｓの達成で向上すると考えている企業は 12.2%だった。一方、企業の４割が「分からない」と回答した。

©TEIKOKU DATABANK, LTD.

4. 付加価値を生むために取り組むテーマ、ヒトに関連する内容が目立つ

ＳＤＧｓの達成に向けて地域や国際社会に付加価値を生むテーマについて、インパクトの大きいと考えるものを尋ねたところ、異能な地域人財の活用など「顧客・人財確保」が33.6%でトップとなった（複数回答3つまで、以下同）。次いで、地域ワーク・シェアリング（複業化）などを含む「適正な労働時間・環境・内容」（30.0%）が3割台で続き、ヒトに関連する項目が上位にあげられた。以下、「気候変動・環境汚染を起こさない原材料・生産工程」（25.4%）、「ゴミを出さない・全て資源で活用する原材料・生産工程」（20.9%）の環境関連が続き、「従業員・顧客の自己実現」（16.5%）、「ブランディング」（15.9%）、「従業員・顧客の生活・役割保障」（15.6%）などが続いた。なお、「分からない」は35.3%となり、判断が難しいこともわかった。

■SDGsの達成が最も生み出す付加価値（複数回答、3つまで）

（%）

		全体
1	顧客・人財確保	33.6
2	適正な労働時間・環境・内容	30.0
3	気候変動・環境汚染を起こさない原材料・生産工程	25.4
4	ゴミを出さない・全て資源で活用する原材料・生産工程	20.9
5	従業員・顧客の自己実現	16.5
6	ブランディング	15.9
7	従業員・顧客の生活・役割保障	15.6
8	自然の力で産まれるエネルギーの使用	13.3
9	テクノロジー	4.9
	その他	0.9
	現時点では紐づけられない	11.6
	分からない	35.3

注：母数は、有効回答企業654社

5. 企業経営において最も大切にしていること、「顧客・従業員満足度」がトップ

ビジネスの目的や企業理念など、企業経営において大切にしていることを1位から3位まで尋ねたところ、総合順位では「顧客・従業員満足度（評判・働きがい）」が総合ポイント3.38点となり、企業経営を行う上で最も大切にしている結果となった。「顧客・従業員満足度（評判・働きがい）」を1位にあげた企業が47.1%、2位にあげた企業も32.4%でともに各順位で最も高い割合となった。また、「自社事業拡大（業績・経済力）」は、総合ポイントが2.14点で2番目に高く、企業の3割近くが1位と選択した。「社会貢献（地域・コミュニティ・家族）」は総合ポイントが1.53点となり、企業の31.5%が3位としてあげた。

■企業経営する上で大切にしていること

（単位：ポイント、構成比%）

	総合順位	総合ポイント	1位	2位	3位
顧客・従業員満足度（評判・働きがい）	1	3.38	47.1	32.4	4.9
自社事業拡大（業績・経済力）	2	2.14	28.0	19.7	15.0
社会貢献（地域・コミュニティ・家族）	3	1.53	10.2	23.4	31.5
経済貢献（経済成長・産業発展）	4	0.80	4.9	11.9	19.4
地球貢献（地球環境・自然）	5	0.37	2.9	3.7	11.6
社会的名誉（名声・地位）	6	0.09	0.5	1.4	2.4
その他	－	0.08	0.2	1.8	2.1
分からない	－	0.61	6.3	5.7	13.0

注1：1位～3位の構成比は、各項目について1位～3位を選択した企業の割合
注2：総合順位は各項目に対して総合ポイントを付与し、「その他」「分からない」を除く6項目で順位付けした。
総合ポイントは、1位に5点、2位に3点、3位に1点を与えて算出。5点満点
注3：母数は、有効回答企業654社

©TEIKOKU DATABANK, LTD.

まとめ

世界的にＳＤＧｓに対して積極的に関与する機運が高まり、目標達成への貢献によって新たなビジネスチャンスへのつながりや企業の魅力向上、それにともなう新たな人材の獲得など、さまざまな効果も期待されている。本調査では、ＳＤＧｓに『積極的』である企業は 23.7%にとどまる一方で、ＳＤＧｓという存在を認識しているものの取り組んでいない企業が 46.5%を占め、言葉も知らない企業が 14.5%もあった。ＳＤＧｓの 17 目標に照らし合わせて、「働きがいも経済成長も」の関心が高く、働き方改革に関連した目標を意識していることがわかった。今後はＳＤＧｓの認知度向上が進む施策に加えて、取り組む企業を増やすためにＳＤＧｓと企業活動とのつながりを示すなど、企業が取り組みに前向きになるような働きかけやきっかけの提供が必要だろう。

～企業からの声～

・社会・環境・経済がバランスよく発展できるように、変革期において特に意識して取り組んでいる
（化学品製造・岡山）

・関わる地域や従業員の満足度、幸福度が高まる取り組みこそ企業が行うべきものだと考えている
（鉄鋼製造・岡山）

・今後の取り組みとして重要なコンテンツだと考えている **（飲食店・広島）**

・しっかりとした経済基盤の先に求めていくことであると考える **（鉄鋼製造・山口）**

・ＳＤＧｓはたいへん意義のある重要なことだと理解しているが、会社の売り上げや利益につながるのかどうかよくわからない **（機械製造・岡山）**

・あまりに漠然としていて話が大きいため、現状と結びついてはいない。身近な問題として考えるのであれば、ある程度の理想型は持てる **（情報サービス・広島）**

・ＳＤＧｓといってもあまりピンとこない **（専門商品小売・鳥取）**

・言葉を聞いたことはあるが、よく理解できていない **（機械製造・島根）**

・何をするべきかがはっきりしない **（繊維製品製造・岡山）**

・ＳＤＧｓの重要性が急に唱えられていることに戸惑いと不信感がある **（メンテナンス・広島）**

・積極的に取り組めるような余裕のある企業になりたいと思う **（機械卸・広島）**

・目的を理解しているが、規模が中小、零細になるほど、なかなか取り組みが難しいのではないか
（機械製造・岡山）

【内容に関する問い合わせ先】
株式会社帝国データバンク　広島支店情報部　担当：藤井・松岡
TEL：082-247-5930　　FAX：082-249-1242

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。
著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。